

**脳卒中の医療連携体制を担う医療機関
令和2年度実績の集計**

令和3年8月

岡山県保健福祉部 医療推進課

＜ 目 次 ＞

I	急性期の機能を担う医療機関の状況	… P. 1～ 4
II	回復期の機能を担う医療機関の状況	… P. 5
III	維持期の機能を担う医療機関の状況	… P. 6～ 7
IV	急性期、回復期、維持期を担う医療機関から転棟・転院した患者の状況	… P. 8～ 9
V	急性期、回復期、維持期を担う医療機関における入退院連携状況	… P. 10～11
VI	回復期及び維持期の機能を担う医療機関におけるリハビリテーションの状況	… P. 12
VII	急性期、回復期、維持期を担う医療機関における自由記載欄	… P. 12
VIII	調査様式及び記入要領	… P. 13～25
	【付属資料1】各調査項目の関係性（概念図）	… 別添
	【付属資料2】急性期医療機関別実績表	… 別添

【調査内容】

令和2年度（R2. 4. 1～R3. 3. 31）における医療機関ごとの治療等実績

【対象及び回収状況】

調査票の様式	担っている医療機能	対象機関数及び内訳	回収
別紙1	急性期	30 急性期Aの医療機能を有する: 14 急性期Bの医療機能を有する: 4 急性期Cの医療機能を有する: 12	30
別紙2	回復期	49	47
別紙3	維持期	99 維持期（療養病床を有する施設）の医療機能を有する: 41 維持期（在宅医療）の医療機能を有する: 23 維持期（療養病床を有する施設）及び維持期（在宅医療）の医療機能を有する: 35	85

（備考） 別紙3の対象は、維持期の機能を担っているすべての医療機関等であり、この中には急性期、回復期の機能も担っている医療機関が26機関ある。

I 急性期の機能を担う医療機関の状況

1 急性期の機能を担う医療機関における脳卒中入院患者数

(人)

担っている医療機能	脳梗塞	一過性脳虚血発作	脳内出血	くも膜下出血	計
急性期(A・B・C) ※	4,140	254	1,145	350	5,889
新規入院患者数 (X)	3,801	245	1,006	303	5,355
他の急性期医療機関からの紹介	339	9	139	47	534
急性期(A)	3,414	188	960	307	4,869
新規入院患者数	3,257	182	910	281	4,630
他の急性期医療機関からの紹介	157	6	50	26	239
急性期(B)	230	12	68	5	315
新規入院患者数	166	12	40	3	221
他の急性期医療機関からの紹介	64	0	28	2	94
急性期(C)	496	54	117	38	705
新規入院患者数	378	51	56	19	504
他の急性期医療機関からの紹介	118	3	61	19	201

※ 新規入院患者数には、紹介によらない患者のほか、急性期病院以外(回復期・維持期)からの紹介患者を含む。

【参考】急性期の機能を担う医療機関における新規入院患者数(X)の推移

(人)

	脳梗塞	一過性脳虚血発作	脳内出血	くも膜下出血	計
平成20年度	4,170	486	1,171	462	6,289
平成21年度	3,872	444	1,228	414	5,958
平成22年度	4,342	354	1,308	462	6,466
平成23年度	3,770	380	1,142	390	5,682
平成24年度	3,628	348	1,097	427	5,500
平成25年度	3,728	428	1,126	424	5,706
平成26年度	3,711	404	1,276	458	5,849
平成27年度	3,773	392	1,242	418	5,825
平成28年度	3,851	376	1,189	382	5,798
平成29年度	3,841	386	1,145	342	5,714
平成30年度	4,039	324	1,123	370	5,856
令和元年度	3,940	341	1,087	337	5,705
令和2年度	3,801	245	1,006	303	5,355

2 新規入院患者の来院経緯

(1) 救急車により搬送されてきた新規入院患者数 ※1

(人, %)

搬送先	新規入院患者数(再掲) (a)	うち救急車による搬送 (b)	(b) / (a)
急性期(A・B・C)	5,355	2,941	54.9%
急性期(A)	4,630	2,696	58.2%
急性期(B)	221	78	35.3%
急性期(C)	504	167	33.1%

(2) 新規入院患者の居住地及び入院先医療機関の所在地(二次保健医療圏域別) ※1

(人)

患者居住地 医療機関所在地	県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田	県外	計
県南東部	2,280	34	6	5	44	27	2,396
県南西部	114	1,788	89	9	4	18	2,022
高梁・新見	2	2	30	1	0	1	36
真庭	0	0	6	99	8	0	113
津山・英田	2	0	3	35	465	15	520
計	2,398	1,824	134	149	521	61	5,087

(3) 人口割における新規入院患者の居住地及び入院先医療機関の所在地(二次保健医療圏域別) ※1

(%)

患者居住地 医療機関所在地	県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田	計
県南東部	0.88%	0.02%	0.03%	0.03%	0.07%	0.43%
県南西部	0.04%	0.87%	0.38%	0.05%	0.01%	0.36%
高梁・新見	0.00%	0.00%	0.13%	0.01%	0.00%	0.01%
真庭	0.00%	0.00%	0.03%	0.57%	0.01%	0.02%
津山・英田	0.00%	0.00%	0.01%	0.20%	0.78%	0.09%
計	0.93%	0.89%	0.57%	0.86%	0.87%	0.90%

※1 (1)、(2)、(3)ともに医療機関において把握している人数のみ計上している

※2 人口割合として、岡山県毎月流動人口(2020年10月1日現在)の老年人口(65歳以上)を使用している。

3 専門的治療件数

① t-PA静注療法

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
件数	158	185	164	154	169	239	207	264	271	318	302	345	287

② 脳内血腫除去術(脳卒中によるもの)

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
件数	(339)	(320)	(270)	(248)	(201)	(194)	(221)	(260)	(298)	234	196	182	180

③ 脳動脈瘤クリッピング術

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
件数	446	361	389	319	305	335	299	247	253	206	190	200	165

④ 脳動脈瘤および脳動静脈奇形等に対する脳血管内手術

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
件数	(138)	(167)	(222)	(273)	(353)	(347)	(401)	(371)	(346)	280	271	284	293

⑤ 選択的脳血栓・血栓溶解術

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
件数	57	85	57	34	22	19	38	57	2	32	10	12	10

⑥ 経皮的脳血管形成術および経皮的脳血管ステント留置術

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
件数	(H29から調査)									20	25	36	25

⑦ 経皮的脳血栓回収術

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
件数	(H28から調査)								119	159	204	283	229

⑧ 頸動脈内膜剥離術

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
件数	132	136	116	130	110	112	70	83	97	90	66	65	49

⑨ 頸動脈ステント留置術

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
件数	(H29から調査)									100	100	99	86

⑩ 脳動脈バイパス術

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
件数	(H29から調査)									36	40	36	25

※②及び④については、H29から定義を大幅に変更したため、H28までを括弧書きによる参考値とする

【参考】脳梗塞の新規入院患者（紹介入院を除く）のうち、t-PA療法を実施した割合

	脳梗塞患者数 ^{※1} (人) A	t-PA療法 治療件数(件) B	割合 (%) B/A
平成28年度	4,167	271	6.5%
平成29年度	4,133	318	7.7%
平成30年度	4,039	302	7.5%
令和元年度	3,940	345	8.8%
令和2年度	3,801	287	7.6%

※1 平成28・29年度は、急性期と回復期両方の機能を担う医療機関に対して、1つの様式で調査を実施しており、急性期を担う医療機関と、急性期及び回復期両方を担う医療機関の新規入院患者数の合計を使用している。平成30年度からは、急性期と回復期両方の機能を担う医療機関に対し、それぞれの機能別で調査を実施しており、急性期の新規入院患者数を使用している。

【参考】再発による入院患者数

(人, %)

急性期	脳梗塞	一過性脳 虚血発作	脳内出血	くも膜下出血	計
新規入院患者数(再掲) (a)	3,801	245	1,006	303	5,355
うち再発による入院 ^{※2} (b)	317	31	56	6	410
(b) / (a)	8.3%	12.7%	5.6%	2.0%	7.7%

※2 医療機関において把握している人数のみ計上している。

4 地域包括ケア病棟の有無及び治療状況

地域包括ケア病棟の有無、「有」の場合、地域包括ケア病棟において治療した脳卒中患者数

入院元	医療機関数 (a)	有 (b)	左記の割合 (b) / (a)	患者数	無 (c)	左記の割合 (c) / (a)
急性期	30	15	50.0%	201	15	50.0%
急性期(A)	14	2	14.3%	40	12	85.7%
急性期(B)	4	3	75.0%	47	1	25.0%
急性期(C)	12	10	83.3%	114	2	16.7%

II 回復期の機能を担う医療機関の状況

1 回復期の機能を担う医療機関における脳卒中入院患者数

(人)

担っている 医療機能	脳梗塞	一過性脳 虚血発作	脳内出血	くも膜下出血	計
回復期	2,315	105	728	177	3,325
急性期病院からの 新規入院患者数 (X)	1,238	5	477	123	1,843
(X)以外の医療機関 からの紹介	1,077	100	251	54	1,482

2 新規入院患者の来院経緯

(1) 新規入院患者の居住地及び入院先医療機関の所在地(二次保健医療圏域別) ※1

(人)

患者居住地 医療機関所在地	県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田	県外	計
県南東部	1,178	27	7	6	5	16	1,239
県南西部	125	1,477	70	11	5	16	1,704
高梁・新見	9	4	80	1	0	2	96
真庭	0	0	2	36	2	0	40
津山・英田	1	0	3	29	156	1	190
計	1,313	1,508	162	83	168	35	3,269

※1 医療機関において把握している人数のみ計上している

【参考】再発による入院患者数

(人, %)

急性期	脳梗塞	一過性脳 虚血発作	脳内出血	くも膜下出血	計
新規入院患者数(再掲) (a)	2,315	105	728	177	3,325
うち再発による入院 ※2 (b)	166	17	32	1	216
(b) / (a)	7.2%	16.2%	4.4%	0.6%	6.5%

※2 医療機関において把握している人数のみ計上している。

Ⅲ 維持期の機能を担う医療機関の状況

1 維持期の機能を担う医療機関等における脳卒中患者の状況

(人)

区分	通院患者数	往診患者数	入院または 入所患者数	通院リハ 利用者数	その他	合計
総患者数	9,489	665	2,383	992	76	13,605
うちR2 新規患者	1,906	124	783	141	15	2,969

【参考】医療機関所在圏域別の患者数

(人)

区分	通院患者数	往診患者数	入院または 入所患者数	通院リハ 利用者数	その他	合計
総患者数 (再掲)	9,489	665	2,383	992	76	13,605
県南東部	1,854	125	381	246	62	2,668
県南西部	4,417	233	1,063	680	0	6,393
高梁・新見	1,897	17	429	53	0	2,396
真庭	285	73	91	0	0	449
津山・英田	1,036	217	419	13	14	1,699

【参考】医療機関所在圏域別の患者割合

(%)

区分	通院患者数	往診患者数	入院または 入所患者数	通院リハ 利用者数	その他	合計
総患者数	69.7%	4.9%	17.5%	7.3%	0.6%	100.0%
県南東部	69.5%	4.7%	14.3%	9.2%	2.3%	100.0%
県南西部	69.1%	3.6%	16.6%	10.6%	0.0%	100.0%
高梁・新見	79.2%	0.7%	17.9%	2.2%	0.0%	100.0%
真庭	63.5%	16.3%	20.3%	0.0%	0.0%	100.0%
津山・英田	61.0%	12.8%	24.7%	0.8%	0.8%	100.0%

【参考】総患者数の推移

(人)

	通院患者数	往診患者数	入院または 入所患者数	通院リハ 利用者数	その他	合計
平成22年度	15,825	674	5,323	1,344	35	23,201
平成23年度	16,916	708	5,603	1,278	16	24,521
平成24年度	13,746	845	5,654	1,595	5	21,845
平成25年度	13,247	1,029	5,362	1,598	23	21,259
平成26年度	15,431	704	5,651	1,558	17	23,361
平成27年度	15,622	817	5,755	1,510	38	23,742
平成28年度	14,389	925	5,139	1,973	10	22,436
平成29年度	14,315	625	3,637	1,406	16	19,999
平成30年度	12,182	602	3,397	1,707	12	17,900
令和元年度	11,177	705	3,531	1,215	85	16,713
令和2年度	9,489	665	2,383	992	76	13,605

2 急性期又は回復期の機能を担う医療機関から維持期への紹介の状況

(1) 患者数

(人)

区分	急性期病院から	回復期病院から	合計
紹介を受けた 新規患者数	659	327	986
自院内の転棟	101	142	243
他院からの転院	558	185	743

(2) 医療機関数

(機関数)

区分	急性期病院から	回復期病院から	合計
紹介を受けた 医療機関数	64	51	115
自院内の転棟	9	9	18
他院からの転院	55	42	97

IV 急性期、回復期、維持期を担う医療機関から転棟・転院した患者の状況

(1) 在宅等生活の場に復帰した患者数 ※

(人, %)

入院元	入院患者数 (紹介含む)	在宅等生活の場に 復帰した患者数	在宅等復帰率
急性期	5,889	2,589	44.0%
急性期(A)	4,869	2,007	41.2%
急性期(B)	315	193	61.3%
急性期(C)	705	389	55.2%
回復期	3,325	2,072	62.3%

※ 在宅等とは、在宅、グループホーム、有料老人ホームなど、医師が配置されていない生活の場のこと。

(2) 介護保険を利用した施設(老健・特養・介護医療院)へ転院した患者数

(人, %)

入院元	入院患者数 (紹介含む) 維持期は総患者数	介護保険を利用した施設 へ転院した患者数	介護保険を使用した施設 への転院率
回復期	3,325	411	12.4%
維持期	13,605	211	1.6%

(3) 脳卒中再発により急性期A病院へ転棟・転院した患者数

(人, %)

入院元	入院患者数(紹介含む) (再掲) 維持期は総患者数	急性期(A)への 紹介患者数	割合
急性期	5,889	345	5.9%
急性期(A)	4,869	302	6.2%
急性期(B)	315	18	5.7%
急性期(C)	705	25	3.5%
回復期	3,325	54	1.6%
維持期	13,605	48	0.4%

(4)脳卒中再発により急性期A病院以外の医療機関へ転棟・転院した患者数

(人, %)

入院元	再発により入院した患者数 (再掲) 維持期は総患者数	急性期A病院以外の 医療機関へ転棟・転院した 患者数	急性期A病院以外への 転棟・転院率
急性期	5,889	179	3.0%
急性期(A)	4,869	171	3.5%
急性期(B)	315	3	1.0%
急性期(C)	705	5	0.7%
回復期	3,325	219	6.6%
維持期	13,605	65	0.5%

(5)回復期を担う医療機関へ転棟・転院した患者数

(人, %)

入院元	入院患者数 (紹介含む)	回復期への 転棟・転院した患者数	割合
急性期	5,889	1,660	28.2%
急性期(A)	4,869	1,586	32.6%
急性期(B)	315	31	9.8%
急性期(C)	705	43	6.1%

(6)維持期担う医療機関へ転棟・転院した患者数

(人, %)

入院元	入院患者数 (紹介含む)	維持期への 転棟・転院した患者数	割合
急性期	5,889	425	7.2%
急性期(A)	4,869	373	7.7%
急性期(B)	315	19	6.0%
急性期(C)	705	33	4.7%
回復期	3,325	323	9.7%

V 急性期、回復期、維持期を担う医療機関における入退院連携状況

(1) 退院時に、入退院支援加算の算定件数

(機関数, %)

担っている 医療機能	医療機関数 (a)	入退院支援加算算定 医療機関数 (b)	左記の割合 (b) / (a)
急性期	30	27	90.0%
回復期	49	36	73.5%
急性期+回復期	79	63	79.7%
維持期	99	27	27.3%
合計	178	90	50.6%

(件数, %)

担っている 医療機能	入退院支援加算 算定件数 (c)	(c)のうち 地域連携診療計画加算 算定件数 (d)	左記の割合 (d) / (c)
急性期	21,496	1,914	8.9%
回復期	4,476	1,087	24.3%
急性期+回復期	25,972	3,001	11.6%
維持期	1,375	13	0.9%
合計	27,347	3,014	11.0%

(機関, 件数, %)

担っている 医療機能	医療機関数 (a)	パス導入 機関数 (b)	左記の割合 (b) / (a)	パス利用件数(件)		
				(内訳)		
				自院作成	他院作成	
急性期	30	23	76.7%	2,845	2,732	113
回復期	49	32	65.3%	1,342		
急性期+回復期	79	55	69.6%	4,187	2,732	113
維持期	99	23	23.2%	75		
合計	178	78	43.8%	4,262		

【参考】急性期又は回復期の機能を担う医療機関における地域連携クリティカルパスの推移

	医療機関数 (a)	パス導入 機関数 (b)	左記の割合 (b)／(a)	パス作成件数(件)※		
				(内訳)		
				自院作成	他院作成	
平成20年度	54	26	48.1%	1,264	882	382
平成21年度	57	43	75.4%	2,676	1,828	848
平成22年度	62	52	83.9%	3,032	2,099	933
平成23年度	63	52	82.5%	3,355	2,182	1,173
平成24年度	63	52	82.5%	3,417	2,155	1,262
平成25年度	65	55	84.6%	3,335	2,254	1,081
平成26年度	65	57	87.7%	3,487	2,361	1,126
平成27年度	65	58	89.2%	3,493	2,350	1,143
平成28年度	63	57	90.5%	3,209	2,123	1,086
平成29年度	64	57	89.1%	3,849	2,696	1,153
平成30年度	80	56	70.0%	3,895	2,434	149※
令和元年度	78	57	73.1%	3,833	2,482	174※
令和2年度	79	55	69.6%	4,187	2,732	113※

※H30年度調査については、急性期及び回復期の両方の機能を担う医療機関においては、急性期と回復期のそれぞれを担う機能として調査を実施したため、回復期におけるパス利用件数としては、自院、他院作成の内訳を調査していない。

VI 回復期及び維持期の機能を担う医療機関におけるリハビリテーションの状況

(1)回復期リハビリテーション病棟入院料 届出状況

(機関数, %)

担っている機能		入院料 届出施設基準(b)							
		1	2	3	4	5	6	届出なし	
回復期	医療機関数 ^(a)	49	14	0	5	0	0	0	27
	割合 (b) / (a)	28.6%	0.0%	10.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	55.1%

(2)脳卒中患者におけるリハビリテーション実施状況

(人)

区分	脳血管疾患等リハビリテーション料 算定人数		摂食機能療法を算定した患者数	
	入院患者	外来患者	入院患者	外来患者数
回復期	6,924		2,896	
維持期	1,722	525	924	61

VII 急性期、回復期、維持期を担う医療機関における自由記載欄

血栓溶解療法を含め急性期に南部の高度急性期病院へ送るのはそうすべきだと思いますが、それが終わって回復期に転院となった時に、必ずしも新見地区へ帰って来ない症例が多いと思います。

同じ県南の回復期病院へ回されて、ほぼすることが無くなって(後は施設を待つとか)から、新見に紹介となる事例が多いです。回復期リハビリ病棟ではなくても当院などはPT・OT・ST全部揃っているの、患者サイドの希望にもよるでしょうが、南部で患者様を回さずに、新見地区に返して欲しいと思います。

症例が増えないことには、回復期リハビリをやりたくてもできません。

脳卒中医療連携評価シート(急性期を担う医療機関用)

病院名			
連絡先	部署名:	担当者氏名:	
	電話番号:	FAX番号:	
貴院が担う <u>全ての</u> 医療機能に○を御記入ください。 急性期 (A ・ B ・ C) 回復期 (回復期リハビリ病棟 ・ それ以外) 維持期 (介護保険サービス 有 ・ 無)			

1. 令和2年度(R2/4/1~R3/3/31)に、貴院へ入院した脳卒中患者の状況

脳卒中による入院患者数 (実人数)	自院以外の急性期病院からの紹介による入院患者数	それ(左記)以外の入院患者数【a】	【a】のうち再発による入院患者数
脳梗塞	人	人	人
一過性脳虚血発作	人	人	人
脳内出血	人	人	人
くも膜下出血	人	人	人
【ア】 合計		人	

合計【ア】のうち救急車で搬送された患者数	人
----------------------	---

合計【ア】のうち居住圏域ごとの患者数	県南東部	(岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町)	人
	県南西部	(倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町)	人
	高梁・新見	(高梁市、新見市)	人
	真庭	(真庭市、新庄村)	人
	津山・英田	(津山市、美作市、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町)	人
	岡山県外		人

2. 令和2年度(R2/4/1~R3/3/31)に、貴院から転棟・転院した脳卒中患者の状況

(1) 在宅等生活の場に復帰した患者数	人
(2) 脳卒中再発により急性期A病院へ転棟・転院した患者数 <small>※急性期A病院については、「回答にあたっての留意事項」をご確認ください。 ※症候性てんかんを含む</small>	人
(3) 脳卒中再発により(2)以外の急性期医療機関へ転棟・転院した患者数 <small>※症候性てんかんを含む</small>	人
(4) 回復期を担う医療機関へ転棟・転院した患者数	人
(5) 維持期を担う医療機関へ転棟・転院した患者数	人

病院名	
-----	--

3. 令和2年度(R2/4/1~R3/3/31)、貴院における地域包括ケア病棟の有無及び治療状況

(1) 貴院に地域包括ケア病棟の有無	有・無
(2) (1)で「有」の場合、地域包括ケア病棟において治療した脳卒中患者数	人

4. 令和2年度(R2/4/1~R3/3/31)の専門的治療等実施状況

区分	実施件数
① t-PA静注療法	件
② 脳内血腫除去術(脳卒中によるもの)	件
③ 脳動脈瘤クリッピング術	件
④ 脳動脈瘤および脳動静脈奇形等に対する脳血管内手術	件
⑤ 選択的脳血栓・塞栓溶解術	件
⑥ 経皮的脳血管形成術および経皮的脳血管ステント留置術	件
⑦ 経皮的脳血栓回収術	件
⑧ 頸動脈内膜剥離術	件
⑨ 頸動脈ステント留置術	件
⑩ 脳動脈バイパス術	件

5. 令和2年度(R2/4/1~R3/3/31)の入退院連携状況

(1) 退院時にA246 入退院支援加算の算定件数	件
上記(1)のうち	
(2)-① 脳卒中地域連携クリティカルパス実施状況	実施している・実施していない
(2)-② 貴院が発行したクリティカルパス数	件
(2)-③ 他院が発行したクリティカルパスの利用件数	件
(3) 上記(1)の内、A246 地域連携診療計画加算の算定件数	件

6. 脳卒中の医療連携体制に関して御意見等があれば記入をお願いします。

調査は以上です。御協力ありがとうございました!

脳卒中医療連携評価シート(回復期を担う医療機関用)

病院名			
連絡先	部署名:	担当者氏名:	
	電話番号:	FAX番号:	
貴院が担う 全ての 医療機能に○を御記入ください。 急性期 (A ・ B ・ C) 回復期 (回復期リハビリ病棟 ・ それ以外) 維持期 (介護保険サービス 有 ・ 無)			

1. 令和2年度(R2/4/1~R3/3/31)に、貴院へ入院した脳卒中患者の状況

脳卒中による入院患者数 (実人数)	急性期病院からの紹介による入院患者数	それ(左記)以外の入院患者数【a】	【a】のうち再発による入院患者数
脳梗塞	人	人	人
一過性脳虚血発作	人	人	人
脳内出血	人	人	人
くも膜下出血	人	人	人
【ア】 合計		人	

合計【ア】のうち居住圏域ごとの患者数	県南東部	(岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町)	人
	県南西部	(倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町)	人
	高梁・新見	(高梁市、新見市)	人
	真庭	(真庭市、新庄村)	人
	津山・英田	(津山市、美作市、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町)	人
	岡山県外		人

2. 令和2年度(R2/4/1~R3/3/31)に、貴院から転棟・転院した脳卒中患者の状況

(1) 在宅等生活の場に復帰した患者数	人
(2) 介護保険を使用した施設(老健・特養・介護医療院)へ転院した患者数	人
(3) 脳卒中再発により急性期A病院へ転棟・転院した患者数 <small>※急性期A病院については、「回答にあたっての留意事項」をご確認ください。 ※症候性てんかんを含む</small>	人
(4) 脳卒中再発により(3)以外の急性期医療機関へ転棟・転院した患者数 <small>※症候性てんかんを含む</small>	人
(5) 維持期を担う医療機関へ転棟・転院した患者数	人

病院名	
-----	--

3. 令和2年度(R2/4/1～R3/3/31)の脳卒中患者における入退院連携状況

(1) 退院時にA246 入退院支援加算の算定件数	件
上記(1)のうち	
(2)-① 脳卒中地域連携クリティカルパス実施状況	実施している ・ 実施していない
(2)-② 他院が発行したクリティカルパスの利用件数	件
(3) 上記(1)の内、A246 地域連携診療計画加算の算定件数	件

4. 回復期リハビリテーション病棟入院料 届出状況

A308 回復期リハビリテーション病棟入院料 中国四国厚生局へ届け出ている施設基準 【入院料1～6の該当数字に「○」印をつけてください。】	1	2	3
	4	5	6
	届出なし		

5. 令和2年度(R2/4/1～R3/3/31)の脳卒中患者におけるリハビリテーション実施状況

H001 脳血管疾患等リハビリテーション料を算定した患者数	人
H004 摂食機能療法を算定した患者数	人

6. 脳卒中の医療連携体制に関して御意見等があれば記入をお願いします。

調査項目は以上です。御協力ありがとうございました！

脳卒中医療連携評価シート(維持期を担う医療機関用)

病院名			
連絡先	部署名:	担当者氏名:	
	電話番号:	FAX番号:	
貴院・貴施設が担う <u>全ての</u> 医療機能に○を御記入ください。 急性期 (A ・ B ・ C) 回復期 (回復期リハビリ病棟 ・ それ以外) 維持期 (介護保険サービス 有 ・ 無)			

1. 令和2年度(R2/4/1~R3/3/31)の、貴院・貴施設における脳卒中患者の状況

脳卒中患者数 (実人数)	R3/3/31現在の 総患者数	左記のうち、 R2/4/1~R3/3/31に 新たに患者となった数
① 通院患者	人	人
② 往診患者 (訪問看護、訪問リハ含む)	人	人
③ 入院または入所患者	人	人
④ 通所リハビリテーション利用者(①~③ を除く)	人	人
⑤ その他(①~④を除く)	人	人

2. 令和2年度(R2/4/1~R3/3/31)の新規患者のうち、紹介によるもの

紹介元	自院・自施設からの紹介(転棟)	他院からの紹介
① 急性期を担う医療機関からの紹介	人	人
② 回復期を担う医療機関からの紹介	人	人

3. 令和2年度(R2/4/1~R3/3/31)に、貴院・貴施設から転棟・転院(在宅の場合、入院)した脳卒中患者の状況

(1) 介護保険を使用した施設(老健・特養・介護医療院)へ転院した患者数	人
(2) 脳卒中再発により、急性期A病院へ転棟・転院した患者数 <small>※急性期A病院については、「回答にあたっての留意事項」をご確認ください。 ※症候性てんかんを含む</small>	人
(3) 脳卒中再発により、(2)以外の医療機関へ転棟・転院した患者数 <small>※症候性てんかんを含む</small>	人

病院名	
-----	--

4. 令和2年度(R2/4/1~R3/3/31)の脳卒中患者における入退院連携状況

(1) 退院時にA246 入退院支援加算の算定件数	件
上記(1)のうち	
(2)-① 脳卒中地域連携クリティカルパス実施状況	実施している ・ 実施していない
(2)-② 他院が発行したクリティカルパスの利用件数	件
(3) 上記(1)の内、A246 地域連携診療計画加算の算定件数	件

5. 令和2年度(R2/4/1~R3/3/31)の脳卒中患者におけるリハビリテーション実施状況

リハビリテーション実施人数(実人数)	入院患者	外来患者
H001 脳血管疾患等リハビリテーション料算定人数	人	人
H004 摂食機能療法を算定した患者数	人	人

6. 脳卒中の医療連携体制に関して御意見等があれば記入をお願いします。

調査項目は以上です。御協力ありがとうございました！

様式1 脳卒中医療連携評価シート（急性期を担う医療機関用）

<回答にあたっての留意事項>

1. 令和2年度（R2/4/1～R3/3/31）に、貴院へ入院した脳卒中患者の状況

- ・ 令和2年度中の新規入院患者について、「自院以外の急性期病院からの紹介による入院患者数」と「それ（左記）以外の入院患者数【a】」に分けて、疾患ごとの実人数を記載してください。
※ 「それ（左記）以外の入院患者数【a】」は、急性期病院以外（回復期・維持期）からの紹介患者と、紹介によらない患者（救急搬送を含む）の合計人数になります。
- ・ 「【a】のうち再発による入院患者数」には、脳卒中の再発による入院患者数を記載してください。「再発」の定義は決めておりませんので、各医療機関において「再発」と判断できる患者数を計上してください。把握できている患者のみで結構です。また、把握していない場合は「0人」としてください。（前回発症時に、他院で治療を行っている場合も含まれます。）
- ・ 「合計【ア】のうち救急車で搬送された患者数」には、救急車で搬送されてきた入院患者数を記載してください。把握できている患者のみで結構です。また、把握していない場合は「0人」としてください。
- ・ 「合計【ア】のうち居住圏域ごとの患者数」には、居住지가把握できている患者について、二次保健医療圏域別に人数を記載してください。各項目を合わせた人数が、合計【ア】に足りなくても構いません。

2. 令和2年度（R2/4/1～R3/3/31）に、貴院から転棟・転院した脳卒中患者の状況

(1) 在宅等生活の場に復帰した患者数

「在宅等」は、自宅のほか、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅などの医師が配置されていない生活の場を含みます。

(2) 脳卒中再発により急性期A病院へ転棟・転院した患者数

以下の病院へ転棟・転院した人数の合計を記載してください。

[岡山市]	[倉敷市]
・ 国立病院機構 岡山医療センター	・ 川崎医科大学附属病院
・ 岡山旭東病院	・ 倉敷中央病院
・ 岡山市立市民病院	・ 倉敷平成病院
・ 岡山赤十字病院	
・ 岡山大学病院	[真庭市]
・ 川崎医科大学総合医療センター	・ 金田病院
・ 岡山済生会総合病院	
・ 岡山ろうさい病院	[津山市]
・ 岡山東部脳神経外科病院	・ 津山中央病院

(3) 脳卒中再発により（2）以外の急性期医療機関へ転棟・転院した患者数

上記<急性期A>以外へ転棟・転院した患者数を記載してください。

(4) 回復期を担う医療機関へ転棟・転院した患者数

「回復期」の機能を担っているとされる病棟・病院等へ転棟・転院した患者数を記載してください。参考：岡

山県保健医療計画において、各期の医療機能を満たす医療機関から届出を頂いている医療機関一覧を、添付しております。

(5) 維持期を担う医療機関へ転棟・転院した患者数

「維持期」の機能を担っているとされる病棟・病院等へ転棟・転院した患者数を記載してください。参考として、岡山県保健医療計画において、各期の医療機能を満たす医療機関から届出を頂いている医療機関一覧を、添付しております。

3. 令和2年度 (R2/4/1~R3/3/31)、貴院における地域包括ケア病棟の有無及び治療状況

- ・ 貴院において、地域包括ケア病棟がある場合は「有」、ない場合は「無」を選んで「○」印を記載してください。
- ・ 「有」の場合は、地域包括ケア病において治療した脳卒中患者数を記載してください。
地域包括ケア病棟のみカウントしてください。急性期病棟等で治療した患者数は含みません。
把握できる患者のみで結構です。

4. 令和2年度 (R2/4/1~R3/3/31) の専門的治療等実施状況

- ・ 下表の区分に従い、実際に行った治療等の件数を記載してください。
- ・ 待機的手術を含みます。
- ・ 1回の手術で複数の治療を行った場合は、それぞれを1件としてカウントしてください。
- ・ 担当医師に確認していただく等の方法により、診療報酬を算定していないものについても、可能な限り実施件数に含めてください。

区分	左記の各区分に含まれる治療内容（診療報酬点数表のコード等）
① t-PA 静注療法	脳梗塞と診断された患者に対し、発症後 4.5 時間以内に組織プラスミノゲン活性化因子を投与した件数 (A205-2 超急性期脳卒中加算を算定していない場合も件数に含める)
② 脳内血腫除去術 (脳卒中によるもの)	K164 頭蓋内血腫除去術 (開頭して行うもの) K164-4 定位的脳内血腫除去術 K164-5 内視鏡下脳内血腫除去術
③ 脳動脈瘤クリッピング術	K176 脳動脈瘤流入血管クリッピング (開頭して行うもの) K177 脳動脈瘤頸部クリッピング
④ 脳動脈瘤および脳動静脈奇形等に対する脳血管内手術	K178 脳血管内手術
⑤ 選択的脳血栓・塞栓溶解術	K178-3 経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術
⑥ 経皮的脳血管形成術および経皮的脳血管ステント留置術	K178-2 経皮的脳血管形成術 K178-5 経皮的脳血管ステント留置術 (頭蓋内)
⑦ 経皮的脳血栓回収術	K178-4 経皮的脳血栓回収術
⑧ 頸動脈内膜剥離術	K609 動脈血栓内膜摘出術 2内頸動脈
⑨ 頸動脈ステント留置術	K609-2 経皮的頸動脈ステント留置術

⑩ 脳動脈バイパス術	頭蓋外-頭蓋内血管吻合 (STA-MCA 吻合術およびハイフローバイパス)
------------	--

5. 令和2年度 (R2/4/1~R3/3/31) の入退院連携状況

- (1) 退院時に A246 入退院支援加算を算定した件数を記載してください。
1人の患者に複数回算定している場合も、「1 (件)」とカウントしてください。
- (2) 「地域連携クリティカルパス」実施状況について記載してください。
「岡山県の脳卒中地域連携診療計画書」などの書式を使用して、患者や紹介先医療機関に対し、治療の経過や今後の診療計画の説明を行っているかどうかを記載してください。岡山県が定めた書式以外を使用している場合も含みます。また、地域連携診療計画加算を算定していない場合も含みます。
- (3) 上記 (1) の内、地域医療診療計画加算の算定件数を記載してください。
1人の患者に複数回算定している場合も、「1 (件)」とカウントしてください。

様式2 脳卒中医療連携評価シート（回復期を担う医療機関用）

<回答にあたっての留意事項>

1. 令和2年度（R2/4/1～R3/3/31）に、貴院へ入院した脳卒中患者の状況

- ・ 令和2年度中の新規入院患者について、「急性期病院からの紹介による入院患者数」と「それ（左記）以外の入院患者数【a】」に分けて、疾患ごとの実人数を記載してください。
 - ※ 「それ（左記）以外の入院患者数【a】」は、急性期病院以外（回復期・維持期）からの紹介患者と、紹介によらない患者（救急搬送を含む）の合計人数になります。
- ・ 「【a】のうち再発による入院患者数」には、脳卒中の再発による入院患者数を記載してください。「再発」の定義は定めておりませんので、各医療機関において「再発」と判断できる患者数を計上してください。把握できている患者のみで結構です。また、把握していない場合は「0人」としてください。（前回発症時に、他院で治療を行っている場合も含みます。）
- ・ 「合計【ア】のうち居住圏域ごとの患者数」には、居住地が把握できている患者について、二次保健医療圏域別に人数を記載してください。各項目を合わせた人数が、合計【ア】に足りなくても構いません。

2. 令和2年度（R2/4/1～R3/3/31）に、貴院から転棟・転院した脳卒中患者の状況

(1) 在宅等生活の場に復帰した患者数

「在宅等」は、自宅のほか、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅などの医師が配置されていない生活の場を含みます。

(2) 介護保健を使用した施設（老健・特養・介護医療院）へ転院した患者数

把握できている患者のみで結構です。

(3) 脳卒中再発により 急性期A病院へ転棟・転院した患者数

以下の病院へ転棟・転院した人数の合計を記載してください。

[岡山市]	[倉敷市]
・ 国立病院機構 岡山医療センター	・ 川崎医科大学附属病院
・ 岡山旭東病院	・ 倉敷中央病院
・ 岡山市立市民病院	・ 倉敷平成病院
・ 岡山赤十字病院	
・ 岡山大学病院	[真庭市]
・ 川崎医科大学総合医療センター	・ 金田病院
・ 岡山済生会総合病院	
・ 岡山ろうさい病院	[津山市]
・ 岡山東部脳神経外科病院	・ 津山中央病院

(4) 脳卒中再発により(3)以外の急性期医療機関へ転棟・転院した患者数
上記<急性期A>以外へ転棟・転院した患者数を記載してください。

(5) 維持期を担う医療機関へ転棟・転院した患者数

「維持期」の機能を担っているとされる病棟・病院等へ転棟・転院した患者数を記載してください。

参考に、岡山県保健医療計画において、各期の医療機能を満たす医療機関から届出を頂いている医療機関一覧を、添付しております。

3. 令和2年度(R2/4/1~R3/3/31)の入退院連携状況

(1) 退院時にA246 入退院支援加算を算定した件数を記載してください。

1人の患者に複数回算定している場合も、「1(件)」とカウントしてください。

(2) 「地域連携クリティカルパス」実施状況について記載してください。

「岡山県の脳卒中地域連携診療計画書」などの書式を使用して、患者や紹介先医療機関に対し、治療の経過や今後の診療計画の説明を行っているかどうかを記載してください。

岡山県が定めた書式以外を使用している場合も含まれます。

また、A246 地域連携診療計画加算を算定していない場合も含まれます。

(3) 上記(1)の内、A246 地域医療診療計画加算の算定件数を記載してください。

1人の患者に複数回算定している場合も、「1(件)」とカウントしてください。

4. 回復期リハビリテーション病棟入院料 届出状況

- ・ A308 回復期リハビリテーション病棟入院料について中国四国厚生局へ届出ている施設基準により、該当する数字等に「○」印をご記入ください。(基本的には1~6のいずれかに当てはまると考えられます。)

届出ている場合・・・・・・入院料「1~6」の該当する数字

届出していない場合・・・・・・「届出なし」

5. 令和2年度(R2/4/1~R3/3/31)のリハビリテーション実施状況

- ・ H001 脳血管疾患等リハビリテーション料を算定した患者数を記載してください。

1人の患者に複数回算定している場合も、「1(件)」とカウントしてください。

- ・ H004 摂食機能療法を算定した患者数を記載してください。

1人の患者に複数回算定している場合も、「1(件)」とカウントしてください。

様式3 脳卒中医療連携評価シート（維持期を担う医療機関用）

<回答にあたっての留意事項>

1. 令和2年度（R2/4/1～R3/3/31）の、貴院・貴施設における脳卒中患者の状況

- ・ 「脳梗塞」「脳内出血」「くも膜下出血」「一過性脳虚血発作」の患者数の合計を記載してください。
- ・ 「R3/3/31現在の総患者数」には、令和2年度以前から貴院・貴施設で治療中（R3/3/31時点で継続中）の患者を含み、令和2年度の途中で治療を終了（または転院）した患者を除きます。
- ・ 脳卒中予防（または再発防止）のために貴院で投薬を行っている場合も、回答に含めてください。ただし、脳卒中の既往歴がある患者でも、経過観察のみで特段の処置等を行っていない場合は除いてください。
- ・ ④通所リハビリテーション利用者については、①通院患者、②往診患者（訪問看護、訪問リハ含む）、③入院または入所患者を除いた人数を記載してください。⑤その他については、①～④を除いた人数を記載してください。

2. 令和2年度（R2/4/1～R3/3/31）の新規患者のうち、紹介によるもの

- ・ 急性期と回復期の両方を担う医療機関から紹介があった患者で、どちらの機能（病床）からの紹介かわからない場合は、「①急性期を担う医療機関からの紹介」に含めてください。

3. 令和2年度（R2/4/1～R3/3/31）に、貴院・貴施設から転棟・転院（在宅患者の場合、入院）した脳卒中患者の状況

- (1) 介護保険を使用した施設（老健・特養・介護医療院）へ転院した患者数把握できている患者のみで結構です。

- (2) 脳卒中再発により、急性期A病院へ転棟・転院した患者数

以下の病院へ転棟・転院した人数の合計を記載してください。

[岡山市]	[倉敷市]
・ 国立病院機構 岡山医療センター	・ 川崎医科大学附属病院
・ 岡山旭東病院	・ 倉敷中央病院
・ 岡山市立市民病院	・ 倉敷平成病院
・ 岡山赤十字病院	
・ 岡山大学病院	[真庭市]
・ 川崎医科大学総合医療センター	・ 金田病院
・ 岡山済生会総合病院	
・ 岡山ろうさい病院	[津山市]
・ 岡山東部脳神経外科病院	・ 津山中央病院

- (3) 脳卒中の再発により、(2)以外の医療機関へ転棟・転院した患者数
上記<急性期A>以外へ転棟・転院した患者数を記載してください。

4. 令和2年度 (R2/4/1~R3/3/31) の入退院連携状況

- (1) 退院時に A246 入退院支援加算を算定した件数を記載してください。
1人の患者に複数回算定している場合も、「1 (件)」とカウントしてください。
- (2) 「地域連携クリティカルパス」実施状況について記載してください。
「岡山県の脳卒中地域連携診療計画書」などの書式を使用して、患者や紹介先医療機関に対し、治療の経過や今後の診療計画の説明を行っているかどうかを記載してください。
岡山県が定めた書式以外を使用している場合も含まれます。
また、A246 地域連携診療計画加算を算定していない場合も含まれます。
- (3) 上記(1)の内、A246 地域医療診療計画加算の算定件数を記載してください。
1人の患者に複数回算定している場合も、「1 (件)」とカウントしてください。

<参考>岡山県が定めた様式

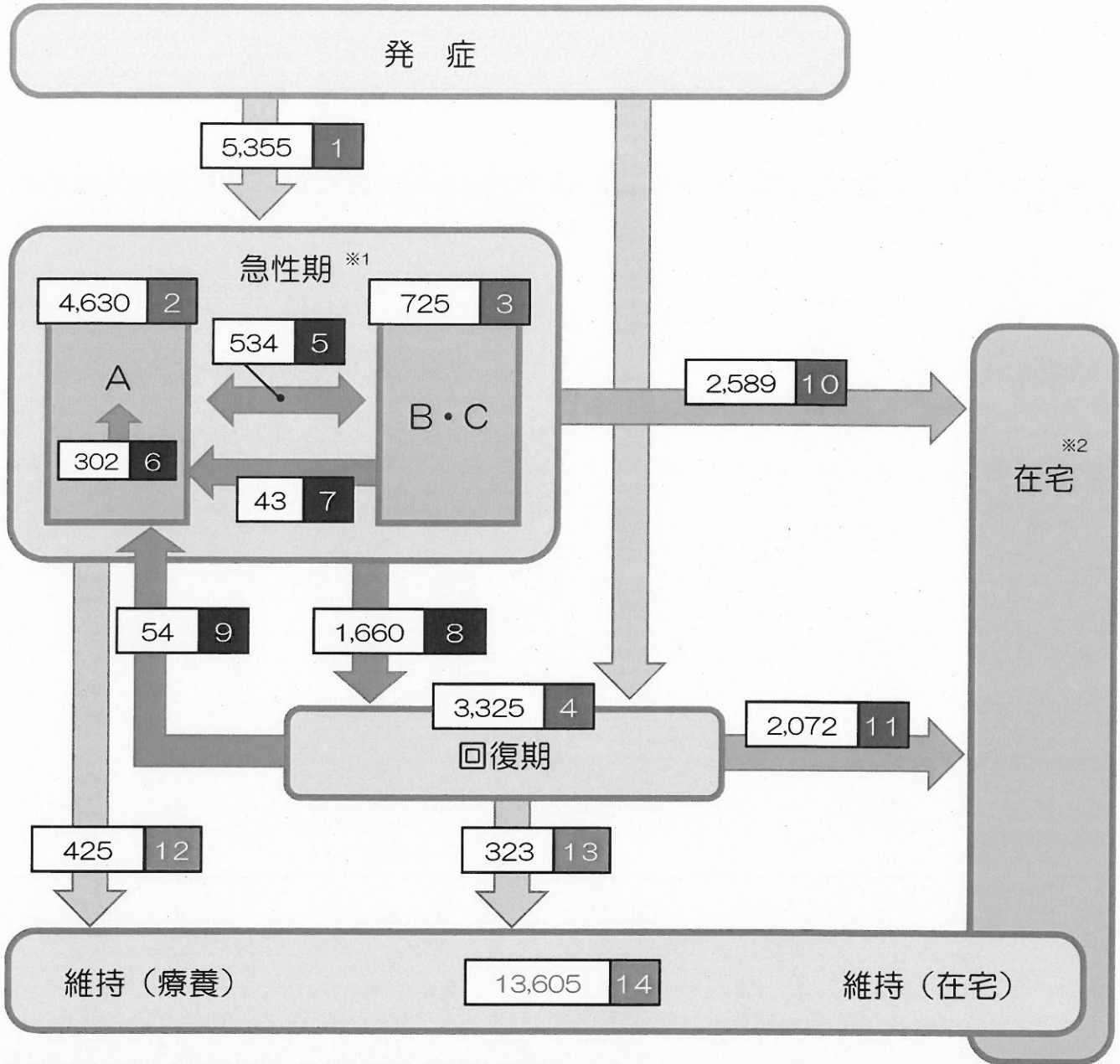
5. 令和2年度 (R2/4/1~R3/3/31) のリハビリテーション実施状況

- ・ H001 脳血管疾患等リハビリテーション料及びH004 摂食機能療法を、上記期間中に算定している実患者数 (人) を記載してください。入院患者、外来患者別に記載してください。
- ・ 1人の患者に複数回算定している場合も、「1 (件)」とカウントしてください。
- ・ 同一患者が入院と外来において、それぞれ算定している場合は、令和2年度末現在 (R3/3/31) の患者の状態で算定している方を「1 (人)」とカウントしてください。

各調査項目の関係性(概念図)

付属資料 1

(単位：人)



※1 急性期のみを担う医療機関のほか、急性期と回復期を担う医療機関を含む

※2 自宅のほか、グループホーム等の医師が配置されていない生活の場を含む

1	急性期の新規入院患者、紹介除き (P1_上表)	8	急性期から回復期への紹介 (P9_(5)表)
2	[1]のうち急性期Aへの新規入院患者 (P1_上表)	9	回復期から急性期Aへの紹介 (P8_(3)表)
3	[1]のうち急性期B・Cへの新規入院患者 (P1_上表)	10	急性期から在宅等生活の場への復帰 (P8_(3)表)
4	回復期の新規入院患者、紹介込み (P5_上表)	11	回復期から在宅等生活の場への復帰 (P8_(1)表)
5	急性期から他の急性期への紹介 (P1_上表)	12	急性期から維持期への紹介 (P9_(6)表)
6	入院後、急性期AからAへの紹介 (P8_(3)表)	13	回復期から維持期への紹介 (P9_(6)表)
7	入院後、急性期B・CからAへの紹介 (P8_(3)表)	14	維持期の総患者数 (P6_1表)

